

# 北九州ビオトープ・ネットワーク研究会 総務大臣表彰を受賞

## 里山、海の保全活動評価

里山や洞海湾の保全活動「総務大臣表彰」を受賞  
に取り組み特定非営利活動  
法人(NPO法人)「北九  
州ビオトープ・ネットワー  
ク研究会(若松区)が、  
本年度の総務省の「地域づ  
くり総務大臣表彰」を受賞  
することが決まった。多様  
な活動と研究面での貢献が  
評価された。二十二日に東  
京都で表彰式がある。

研究会理事長のデワンカ



北九州ビオトープ・ネットワーク研究会の活動を  
紹介するパネルを手にするパート理事長

## 22日表彰式「今後も地道に続けたい」

「パート北九州市立大  
環境理工学部准教授(西)は  
「驚き、喜んでいきます。市  
民、自治体と一緒に取り組  
んだことが認められたので  
は」と話している。

研究会は二〇〇一年に発  
足し、会員は現在二十人。  
市立大ひびきのキャンパス  
周辺の若松区、八幡西区で  
主に活動している。

具体的には、市民と竹林  
で竹の間引きをしたり、田  
んぼで親子連れと田植えか  
ら稲刈りまで体験したりす  
るほか、生物観察も実施。

また、川でのカヌー乗り、  
ムラサキイガイを用いた洞  
海湾の水質浄化にも取り組  
んでいる。

総務大臣表彰の団体部門  
では、ほかに十六団体が受  
賞する。パート理事長は「今  
後も地道に未永く活動を続  
けたい」と話している。